

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・  
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

## 2017年度 5月例会のご案内

日 時： 2017年 5月14日（日）13：30～17：00

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）  
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・・・・・・・・・・・・・・・・無料  
京都外国語大学より良い英語教育を考える会会員・・・・300円  
学生・・・・200円  
一般・・・・500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp  
鈴木寿一（京都外国語大学） juichisuzuki0011@gmail.com

13：10～ 受付  
13：30 開会

「主体的・対話的で深い学び」をどのように実践していくのか：高校編

京都教育大学 西本有逸

前回の中学校編（意外と好評？）に続いて、「主体的・対話的で深い学び」の高校編を考えます。基本は変わりません。主体的とは生徒に責任・役割をもたせるということ。対話的とはことばの教育を対話的にみるということ。他者との対話・教材との対話・自己との対話。今回はディスコースの転換を考えます。深い学びとは教師が自己の教育哲学をはっきりと生徒に示すことに他なりません。検定教科書を使って考えます。

### 途中休憩

英語教育 cul-de-sac：様々な制限のなかでどう折り合いをつけて実践するか

京都教育大学附属高等学校 小野 仁

日々の実践の中で、様々な制限（大量の副教材，担当者間の進度調整，受験を意識した指導，学習者の学力など）のために、自分がやりたい授業を実践できないと思っている方が少なからずいらっしゃると思います。そのうちのひとりとして、普段どう折り合いをつけて実践しているかを紹介します。とは言っても抜本的な方法があるわけではありません。あくまで日々のルーティンは守りながら、なんとか時間を作って何らかの活

動を入れるというやり方です。実際にどのように時間を作るのか、そしてどんな活動をした（している）のかをご紹介します。

また時間が許せば、自分がこれまでの実践のなかで気づいたこと（なぜ仮定法の定着が悪いのかなど）や授業でのコツ（生徒の指名の仕方）など、紹介させていただき、何かのお役に立てればと思っています。

17:00 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約40分）。徒歩約8分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約15分）。徒歩約8分。

2) JR京都駅よりJR奈良線利用の場合

JR京都駅でJR奈良線に乗り換え、普通電車でJR藤森駅下車（乗車時間約8分）。徒歩約3分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約40分）。徒歩約8分。

**お願い：** 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は [juichisuzuki0011@gmail.com](mailto:juichisuzuki0011@gmail.com) までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

7月 9日（日）例会 於）京都教育大学